



# SSKW おてっぷ だより

No.75



編集 社会福祉法人すてっぷ すてっぷ後援会

〒379-2164 群馬県前橋市東上野町136番地1

TEL 027-290-6161 FAX 027-290-6162 <https://s-step.com> [w-step@s-step.com](mailto:w-step@s-step.com)

## 第12回チャリティーアート展 開催!

今年も、11月30日(土)、12月1日(日)にチャリティーアート展を盛大に開催することができました。多くの作家さんの御協力のもと、油彩・水彩、版画をはじめ、ガラス工芸、陶芸など、様々な趣味・趣向にも対応できるよう、今年はアートのジャンルを少し広げ、作品数も増やして開催いたしました。その為売り上げも昨年度を上回ることができました。

会場では穏やかな雰囲気の中、お客様にはゆっくり作品の観賞をしていただき、またお気に入りの作品の購入もしていただくこともできました。パン工房では焼き立てのパンを販売し、鑑賞の合い間に喫茶店でドリンクを飲みながらくつろいでいる方も多くいました。

障害を持った利用者の作家さんによるエイブルアートも好評で、陶芸・書・織の作品など多くの方に興味を持っていただき、販売している作家さんに声をかけ質問している方もいました。

チャリティーアート展を開催するにあたり、作家さんをはじめ、ご家族の方々、駐車場を貸してくださいました田子会計様、健康づくり財団様、有限会社クリア様、備品を貸してくださいました群馬理器様、永明公民館様、また東上野町自治会様、地域の皆様方。そして携わってくださったすべての皆様の御協力に心より感謝申し上げます。

これからも「社会福祉法人すてっぷ」の活動を支えていくため後援会としての活動をしていきたいと思えます。

また、多くの方々にすてっぷ後援会の活動にご理解いただき、ご入会していただけることをお願いいたします。

すてっぷ後援会会長 清宮 聖子

総売上	1,523,360円
○ 収入 売上寄付金	327,203円
○ 支出 必要経費(印刷費等)	128,591円
純利益	198,612円
来場者数	201名



## 新しい作業が増えました！ わーくはうすすてっぷ



2019年度わーくはうすすてっぷでは、新たな作業としてウエスの業務委託とシュレッダー作業を始めました。

ウエス作業は、5月からスタート。

作業準備から片付けまで進んで行い、作業が終わると「もうないの?」「明日はできる?」「作業量を増やしてほしい!」という声も出ています。作業量は2倍にアップ!シュレッダー作業はサンサンすてっぷからの依頼で行っています。

「もっとやりたい」「好きなの」と進んで作業しています。

\*個人情報のない会計資料などシュレッダー資料も募集しています。

わーくはうすすてっぷ担当阿部までお問合せください。

電話 027-290-6161



## 山登りをしました とらっぱ

8月に赤城山の長七郎山に登りました。高低差100m、3kmに満たない距離でしたが、霧にまかれ目の前が真っ白になったり、トンボの大群に遭遇。やっと頂上と思ったら、急坂の恐怖など驚きの連続でした。

散歩チームは道の駅でアイスを食べ、吊り橋を渡って森の中を散歩しました。自然の中での体力の挑戦はまだまだ続きます。



Café とらっぱの横にあるジューススタンドでは、新メニューとして、夏は懐かしい「しそジュース」を炭酸割で販売。秋から現在は「りんご豆乳シェイク」「ほっこりソイスープ」を販売しています。定番のグリーンスムージーや手作りジンジャーエールもご用意して、皆様のお越しをお待ちしております。



## 野菜を育てています れいんぼっかんぱに

赤城の豊かな自然の中で、その気候や風土に合った野菜を育てています。2017年から畑を始めてまだ3年目ですが、少しずつ土地のことが分かってきたところです。

今年の収穫は、春夏にナス・キュウリ・ミニトマト・じゃがいも・玉葱、秋冬には人参・大根・白菜でした。太陽の恵みとFarm班のみんなの愛情をいっぱいに浴びた旬の野菜を収穫して、自分たちで食べたり誰かに食べていただける喜びを日々味わっています。

販売量は、じゃがいも約100kg、玉葱約130kg、人参約60kgでした。お買い求めいただき本当にありがとうございました。

これからもみんなで力を合わせておいしい野菜をつくります！



## コミュニケーションを勉強しました ぴいす

今年度も「きっちん」「購買」「清掃」「クロネコDM便」など、様々なところで仕事を行うことができました。稼いだ工賃で、お気に入りのCDを買ったり、出かけたり、美味しいものを食べることもできました。また自立講座では、1年を通して「コミュニケーション」について勉強しました。その実践として、たくみの里や大宮へ出かけたりしました。楽しみにしていた旅行では、東京でライオンキングを観たりスカイツリーに上ったりして楽しく過ごすことができました。来年度もがんばります。



## こんな仕事をしています 前橋市障害者生活支援センター

現在5名のスタッフで約250名の障害児者のご家族へ相談支援を提供しています。お一人おひとりの相談に丁寧に対応することを心がけていますが、こうした個別相談の中で現在の仕組みでは解決できない課題を前橋市自立支援協議会等を通じて検討し、より暮らしやすい新しい仕組みをつくっていくことも大きな役割のひとつです。協議会には6つの部会がありますが、今年度すてっぷが参加している地域生活支援拠点整備部会とこども部会の活動をご紹介します。

地域生活支援拠点整備部会では、親なき後の安心を地域で支えるため、緊急時の相談ができるよう、夜間・休日の連絡体制、受け入れ先の確保などを話し合っています。

こども部会では、子育て支援施策や保育・教育機関等も含めた社会資源を冊子にまとめたり、日頃の支援を振り返り、より理解を深めるため「前橋市療育ネットワーク推進会議研修会」を毎年開催しています。

## 柿のおばあちゃんありがとう！ Little Kid's Club・Kid's Club

昨年秋、元理事の女屋さんのお庭に大きな柿の木があり、LittleとKid'sの子供たちが何度かお邪魔して、柿とりを体験させていただきました。オレンジ色のピカピカ光る柿を女屋さんの奥様に袋いっぱいにしていただき、子供たちは「柿のおばあちゃん」と呼ぶようになりました。お庭で遊ばせていただいたり、抱っこしてもらったり、頭をなでてもらい子供たちは柿のおばあちゃんが大好きでした。



そんな大好きな女屋さんはご家庭の都合で他県へ引っ越し事になりました。12月13日快晴の中、理事長に誘っていただき、皆と一緒に作ったアルバムと花束を持ってお別れに伺いました。「柿のおばあちゃんありがとう！」と元気いっぱい言ってお渡しする事が出来ました。女屋さんの目に光る涙は子供たちの心の中でキラキラ輝きながら一生の宝物になってくれる事でしょう。子供たちが見えなくなるまで、庭先からいつもと変わらない笑顔で、ずっと手を振り続けてくださった女屋さん。お元気でいてください(\*^\_^\*)。

女屋さんからご寄付いただいた土地は来春、子供たちの遊び場として使わせていただく事になりました。子供たちと一緒に女屋さんの笑顔を思いだしながら、安全な場所で沢山遊ばせていただきます。ありがとうございました。

## 働く支援と楽しむ支援 ワークセンターまえばし

6名のスタッフで障害者が一般企業で『働く』を支援しています。就職支援、定着支援に加え、就労先や関係機関と連携し、セミナーを開いたり見学会をコーディネートしたりしています。先日も群馬県労働政策課と共催で、「働く精神障害者支援連絡会議 in 前橋」を開催いたしました。当日は60名を超すたくさんの皆様にご参加いただき、日頃の悩みやこれからの障害者雇用について活発に意見を交わすことが出来ました。

また『楽しむ』の支援としては「ほっとCafe・就業交流会・週末活動クラブ」のイベントを企画しております。日帰り旅行やヨガ、調理、さらには勉強会を通じて、楽しみながら交流を深めています。働く職場は違っていても働いていく中で抱えている思いを共有したり、趣味の話で盛り上がったり、写真を撮ったりと皆さん、休日を楽しんでいます！



## 寄付をいただきました サービスステーションすてっぷ

2018年度の寄託金の配分として、群馬県医薬品配置協会様、群馬県宗教団体連合会様、太陽誘電株式会社様、太陽誘電労働組合様より212,000円を使って、スヌーズレンのバブルチューブを購入させていただきました。そのバブルチューブが令和2年1月に届きました。スヌーズレンルームの整備をさせていただきます。

2019年3月11日から8月11日の期間、イオンモール高崎内にて「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」が実施され、サービスステーションすてっぷも参加させていただきました。このキャンペーンは地域のために活動している団体にレシートの1%を寄付していただくというもので、今回は25,900円のギフトカードをいただき、おもちゃを購入させていただきました。

群馬県内13か所あるサービスステーションがネットワークを作り、より良い制度にするために群馬県に要望を出しています。今年度は重度の利用者に対して、一定の条件を満たすと支援者2名での対応が認められました。

ただし、利用料も2倍になってしまいました。2020年度4月からはキャンセル規定を設けることができるようになりました。規定に沿ってキャンセル料が発生することもあります。

利用される皆様のご協力をお願いします。



バブルチューブ



## ホームの日・季節の会 ケアホームRUN

★ 今年も各「ホームの日」には、それぞれ小旅行に出かけて楽しみました。

また夏の会、クリスマス会では、季節を感じながらアットホームなひと時を過ごしました。



RUNの日：グリーン牧場



すまいる：クリスマス会



すきっぴ：夏の会

- ★ 生活の自立に取り組み、「自分でできる！」が増えた人もいました。
- ★ サービス/制度の利用としては、疾病予防のために2名の方が訪問看護を、1名の方が成年後見人制度を新たに利用し始めました。

♡ 後援会費納入ありがとうございます ♡

赤井 眞佐子 様、新井 千晶 様、新井 豊子 様、芦田 朱乃 様、石倉 利治 様、  
一倉 憲一 様、浦野 成章 様、海老沼 良矩 様、海老原 篤 様、大崎 健樹 様、  
(有)おおさき 様、大谷 律子 様、小澤 恵子 様、女屋 泰秀 様、女屋 えり子 様、  
小野口 房子 様、片平 勉 様、金子 登 様、金古 道子 様、上林 久美子 様、  
唐澤 隆人 様、河合 俊一 様、河内 那保子 様、北見 恵美 様、北澤 静乃 様、  
桐生瓦斯株式会社 様、黒澤 巻雄 様、小山 陽二 様、佐藤 正弘 様、  
佐藤 佐智子 様、品川 弘江 様、城田 佳子 様、神宮 宏和 様、鈴木 芳雄 様、  
須藤 幸男 様、関 健鑑 様、高橋 サワ子 様、立石 志津子 様、塚田 千枝 様、  
豊國 悦雄 様、中澤 梢 様、中山 康江 様、萩原 尚樹 様、蜂巢 史良 様、  
東上野後援会 様、松本 正子 様、(有)丸又 様、宮内 勝美 様、茂木 幸子 様、  
茂木 勝美 様、山岸 雅彦 様、吉沢 保 様、(株)iMotivations 様

♡ ご寄付ありがとうございます ♡

- 2018年度寄託金配分 212,000円。  
寄託者：一般財団法人群馬県医薬品配置協会様、群馬県宗教団体連合会様、太陽誘電株式会社様  
及び太陽誘電労働組合様  
サービスステーションすてっぷで、スヌーズレンバブルチューブ購入しました。
- 2019年度上期「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」25,900円のギフトカード  
寄付者：イオンモール高崎様、黄色いレシートを投函していただいたお客様  
サービスステーションすてっぷで、新しいおもちゃを購入しました。

☆2020年度後援会費の納入をお願いします☆

後援会費 個人会員 3,000円～ (1口3,000円以上)  
団体会員 10,000円～ (1口10,000円以上)

上記の会費を直接後援会事務局へお持ちいただくか、郵便振込にてお申し込みください。

口座番号 00120-4-192242

加入者名 「すてっぷ後援会」